

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 63

令和3年(2021)
7月21日

おもな内容

条例改正・補正予算	2~4
質疑、質問効果の点検・検証	5
一般質問	6~19
委員会報告	20~21
採決一覧・議会日誌	22
みんなの広場	24

トピックス 浜坂認定こども園候補地、現在地周辺は承認せず!!
候補地環境調査予算を削除!!



但馬牧場公園 農業遺産体験館がオープン

但馬牛と共に生活してきた文化を学べる
(令和3年6月26日開館)

浜坂認定こども園候補地、現在地周辺は承認せず!!

候補地環境調査予算を削除!!

6月定例会のあらまし

第108回（令和3年6月）定例会が6月8日に招集され、22日まで15日間の会期で開催されました。町長提出案件は、報告7件、承認1件、条例案5件、補正予算案9件、人事案3件で合計25件が提出されました。審議の結果、令和3年度一般会計予算案は減額修正し可決。その他は原案のとおり可決しました。

補正予算

令和3年度一般会計補正予算第3号

説明 令和3年度一般会計の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1,011万9千円を追加し、総額112億6,401万3千円とするもの。主な増減は職員人事異動に伴う人件費に係るもの。その他、ワクチン接種事業、子育て世帯生活支援特別給付金、浜坂認定こども園候補地環境調査業務、ログハウスカナダメイプルセンター改修工事に係る増額。

浜坂認定こども園候補地環境調査業務

Q 業務の位置づけは、2候補地について、住民に説明する基となる中立的な資料を作る。

A 調査業務の期間は、通常なら1年はかかる。今回は調査に3カ月、まとめに1カ月と考えている。

Q 候補地が決まれば、どれくらいで園ができるのか。

A 開園まで最短で2年半はかかる。

Q 現在地にこだわる理由は、

A 町づくりの総合的判断。近隣商店街で話しても、現在地が良いという人ばかりだ。

Q 1,000分の1想定ハザードマップをどう考えているのか。

A 活かす必要はあるが、あくまで参考。町中どこでも避難は必要だ。

Q そういうことも含めて議会の判断もあつたのでは。

A 町づくりの将来にかかわる事業であり、長いスパンで見た視点で判断する。

Q 教育委員会事務局から役場東側候補地の提案があり、やっとならんとした。

A 安全・安心が一番子ども達に夢を与えられる園を早期にと、担当課と関係課で協議した結果が、役場東側の提案だった。

Q 減額の修正案が提案された。詳細は次ページ

Q 工事の内容は、ワーケーション拠点施設として、テラスウッドデッキの修繕宿泊棟Wi-Fi環境の整備。

Q 増額の内容は、64歳以下の一般の方について集団接種を想定した看護師とスタッフの費用。

Q 新型コロナワクチン接種事業

Q 増額の内容は、64歳以下の一般の方について集団接種を想定した看護師とスタッフの費用。



早期の建替えが望まれる浜坂認定こども園

令和3年度一般会計補正予算(第3号)

修正動議

小林 俊之 議員

内容 浜坂認定こども園候補地環境調査業務委託料の減額

現在地周辺は過去3回、承認していない。水害影響地域等でふさわしくない。3月に町役場東側と現在地周辺の2カ所に絞り、比較検討した結果、役場東側の優位性が明らかだ。

この予算は現在地を含む調査委託費で、今まで3年にわたる議会意思を無視したものだ。浜坂認定こども園についての最重要は安全な保育環境の確保だ。現在地以外の安全な場所での改築に早急に進むことを望み、コンサルへの委託費を削除する。

賛成討論

平澤 剛太 議員

議員となって当初から、浜坂認定こども園現在地の浸水害リスクを述べてきた。想定最大規模降雨量でのハザードマップでは、園舎周辺で5m以上、かさ上げしている現在の敷地においても3mから5mの浸水被害が想定されている。

町自体も、園舎の目の前である浜坂浄化センターで、耐水化計画を策定しようとしている。町当局からは役場東側という新しい候補地の提案を受けた。現在地を候補地を含む業務委託料は予算の無駄づかいだ。

反対討論

河越 忠志 議員

今回の調査業務では、議会が2度、土地鑑定料の補正予算が否決された現在地東側を除く「現在地周辺」と「役場東側」を比較するため資料作成が業務内容である。今回、町長と担当課の考え方に大きな隔たりがあることが判明した。つまり、一方に偏った報告書にはならないことが期待できる。一方、この予算を減額修正すれば、事後説明したとしても「本件にかかる要望書提出者」の思いを門前払いすることと同じだ。

また、「役場東側」でどのような計画が可能か、誰も理解していない状態で議会として、確定すべきではない。

反対討論

浜田 直子 議員

新温泉町の未来を担う子ども達、保護者、地域の人々が、心地よく過ごし、早く浜坂認定子ども園整備をという願いを叶え、これ以上遅らすことなく、取り掛かるには、「候補地環境調査業務」の調査結果は、必要不可欠である。

行政の提案である「現在地周辺」と「役場東側」の2カ所を議員が丸となり議論する際の公平な資料となる。今までの地域からの要望や検討されてきた結果に対しても重要であり、前進のため貴重な予算である。

賛成9・反対6で修正案可決。各会計補正予算は全て可決した。詳細は下の表のとおり。

令和3年度予算(一般会計・特別会計・企業会計)

5月専決・6月補正

(単位:千円)

会 計 名		補 正 額	補正後予算
一 般 会 計		115,411	11,259,013
特 別 会 計	国民健康保険事業 歯科診療施設勘定	47	58,447
	介 護 保 険 事 業	678	1,847,582
	浜坂地区残土処分場事業	△ 533	209,814
	温泉地区残土処分場事業	△ 364	44,069
公 営 企 業 会 計 (支出)	浜坂温泉配湯事業	151	77,128
	水 道 事 業	3,443	912,542
	下 水 道 事 業	3,377	1,388,934
	公 立 浜 坂 病 院 事 業	9,800	1,619,542

条例の改正等

新温泉町個人情報保護条例及び新温泉町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 【可決】

新温泉町手数料条例の一部改正 【可決】

説明 マイナンバーの取り扱いに関する法律の改正に伴う条例改正。

反対討論

谷口 功議員

三つの条例改正は、いずれも通常国会で5月12日に成立した「デジタル関連法」を新温泉町に具体化するための条例改正であり、同意できない。

デジタル技術の発展と普及によって、行政事務や手続きを効率化

し、国民生活の利便性を向上させることは大切だ。しかし、それは行政機関が保有する個人情報の利活用を国民自らがコントロールできる法整備、体制整備と一体的に行われなければならない。デジタル関連法は、個人情報のビッグデータ化、顔認証など、AI（人工知能）の普及の下での個人情報の保護、個人の基本的人権の尊重のための新たな規定も、その考え方も欠落しており、行政機関が特定の目的のために集めた個人情報を「儲けの種」として、本人の同意もないままに目的外利用、外部提供し、成長戦略へ、企業の利益につなげようとするものである。

新温泉町国民健康保険条例の一部改正について 【可決】

説明 令和3年度国民健康保険税率の改正

反対討論

谷口 功議員

3年前から国保都道府県化が始まり、国保税が急激に引き上げられている。痛みを実感させることで医療費抑制を図り、病院削減、医療費削減が狙いだ。

新たな国保税額は、前年度より一人10,453円（12.57%）引き上げる大増税だ。

コロナで打撃を受け生活が成り立たないなど、苦難の声が挙がっている。

町長は「コロナ禍で、基金はこういう時にこそ使うもの」と明言している。基金繰入れを9千万円にとどめず、せめて税率を据え置きとすべきではないか。

国民健康保険税額の推移

年度	平均税額		基金繰入額	世帯数	被保険者数
	1世帯当り	増減率			
平成28年度	163,266円		5,000万円	2,184世帯	3,722人
平成29年度 (前年比)	154,547円 -8,719円	-5.34%	6,000万円	2,117世帯	3,582人
平成30年度 (前年比)	147,603円 -6,944円	-4.49%	3,000万円	2,108世帯	3,513人
令和元年度 (前年比)	144,293円 -3,310円	-2.24%	5,000万円	2,077世帯	3,391人
令和2年度 (前年比)	122,034円 -22,259円	-15.43%	9,000万円	2,057世帯	3,302人
令和3年度 (前年比)	137,897円 15,863円	13.00%	9,000万円	2,067世帯	3,341人

効果の点検・検証

新温泉町議会では議会改革の一環として、質疑・質問の目的である「現行の政策を変更、是正あるいは新規政策を採用させること」の効果点を点検・検証します。

危険な空き家対策は町が率先して取り組むべき（平成29年12月議会一般質問）

【質問】 所有者がいない危険な老朽空家を把握しているか。所有者がなく、周辺に悪い影響を及ぼす老朽空家は、条例に則って、行政による取壊・撤去まで進めるべきだ。

【町長答弁】 集落に行くと本当に危険な空き家がある。財産権というものもあるが、法律も変わってきている。対応策を検討する。

【効果】 令和3年2月 美方郡で初めて、町による代執行で空き家が撤去された。



瓦が落ちる、壁がはがれる危険性があり、集落内道路も通行止めだった



執行分を読み上げる町職員。長く不安の原因だった空き家は撤去された

安心して親子で遊べる遊具の設置を求める（一般質問多数）

【質問】 恵まれた自然は多いが、町内に子どもが安心して遊べる広場、公園、遊具が少ない。町民の願いである、気軽に集える場所を多く作って欲しい。子どもが健やかに育つ環境整備として、但馬牧場公園に充実した遊具を設置しては。

【町長答弁】 出生数も、合併時から半減している。子ども達が過ごしやすい環境が必要である。遊具は検討する。

【効果】 令和3年4月 牧場公園に大型遊具が設置され、子ども達の元気に遊ぶ姿が見られた。



お願い 皆さまからの忌憚のないご意見をお待ちしています。

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているか点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会だよりでは、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項
7	竹内 敬一郎 ①パートナーシップ制度の推進【掲載】 ②ヤングケアラーをどう支えるか【掲載】 ③SDGs（エスディーゼーズ）の具体的な推進【掲載】
8	河越 忠志 ①行政のコンプライアンスについて【掲載】 ②町の振興策について ③おんせん天国カフェ事業について ④ふるさと納税制度の活用について
9	森田 善幸 ①新型コロナウイルスワクチン接種【掲載】 ②温泉を活用した健康増進策【掲載】 ③コロナによる経済的影響を受けた事業者や個人の支援 ④ふるさと納税の今後
10	重本 静男 ①有害鳥獣による農作物被害防止対策について【掲載】 ②子育て世代の支援について【掲載】 ③高齢者福祉の充実について【掲載】 ④新型コロナワクチン接種について【掲載】
11	中井 次郎 ①コロナ禍での町民の暮らし【掲載】 ②新型コロナワクチン接種 ③東京オリンピックは中止すべきだ ④国保診療所のスロープ
12	阪本 晴良 ①財政健全化について【掲載】 ②情報伝達について【掲載】 ③巨大風力発電について【掲載】 ④会計年度任用職員について
13	池田 宜広 ①中学校部活動の今後について【掲載】 ②新型コロナワクチン接種について【掲載】

頁	質問者及び質問事項
14	中村 茂 ①温泉天国の成果を検証【掲載】 ②企業誘致と雇用対策 ③浜坂高校との連携
15	平澤 剛太 ①畜産振興の将来【掲載】 ②懸案事項の今後【掲載】
16	浜田 直子 ①コロナ禍における産業、商業等の支援と水産業について【掲載】 ②七釜第2号源泉の活用計画を問う【掲載】 ③結婚・子育て支援と妊娠健診・出産時のタクシー利用の補助について【掲載】 ④男女共同参画・ジェンダーギャップについて【掲載】
17	宮本 泰男 ①山陰海岸国立公園新温泉町エリアの整備について【掲載】 ②千々見山を桜の名所にしよう【掲載】 ③町長の次期出馬について【掲載】
18	太田 昭宏 ①新温泉町が目指す町づくりについて【掲載】 ②子ども・子育て支援について【掲載】 ③コロナ禍での生活状況について
19	谷口 功 ①家族のケアを担う子どもの実態を問う【掲載】 ②「特別障害者手当」とはどのような制度か【掲載】 ③生活保護は、生活に困った時、だれでも受給できるか【掲載】 ④今後の「新型コロナウイルス感染症」対策は何が大事か

※質問は通告受け付け順に掲載しています。
【掲載】は記事にした質問事項です。



竹内敬一郎 議員



性的少数者への理解を

町長 人権の町として、認め合うことが大切

パートナーシップ制度の推進

問 LGBTや性的少数者の性の多様性について、どう認識しているのか。

町長 性に対する考え方は、それぞれ違う。一人ひとりの人権を認めることが、より住みやすい社会につながっていくと思う。
問 私たちの身近に、性的少数者がいるのだという感覚を持つこと、性の多様性を理解し、

尊重していくことが必要だと思うがどうか。
町長 人権を尊重する町として、安心して生活できる状況を作っていくことが大切だと考えている。

問 性の多様性に関する理解促進のために、資料などを作成して、住民に周知してはどうか。
町長 資料を作り、住民啓発をやっていきたい。

LGBTとは



L レズビアン(女性を恋愛や性愛の対象とする女性)

G ゲイ(男性を恋愛や性愛の対象とする男性)

B バイセクシュアル(男女どちらにも恋愛や性愛の対象が向く人)

T トランスジェンダー(出生時の体の性別とは異なる性別を生きる/生きたいと望む人)

性の多様性を理解し、尊重していくことが、人権意識を持つことになる

問 家族の介護や、身の回りの世話などをしている18歳

ヤングケアラーをどう支えるか
町長 人権の町として、積極的に取り組んでいく。

問 本年5月1日時点で105の自治体が、パートナーシップ制度を導入している。本町の導入については、見解は。
町長 各学校で、実態把握を行い、該当する子どもを支援していく。

未満の子ども(ヤングケアラー)が、通学や生活に支障が出るケースがあり、社会問題となっている。本町の実態は。
健康福祉課長 調査を行い、要保護児童対策地域協議会で対応していく。
問 子ども自身が、ヤングケアラーだと気が付いていないことが多く、と言われている。学校での取り組みは。
教育長 各学校で、実態把握を行い、該当する子どもを支援していく。

問 住民の理解促進のために、講演・講座など開催してはどうか。
町長 講演も大切だが、具体的なSDGsに対する取り組みが必要だ

SDGs(エスディーズ)の具体的な推進
問 SDGsは、私たちの身の回りにある問題を目標にしており、身近に感じることが、大切だと思うがどうか。
町長 日常から、意識を啓発していくことが大切だと思う。

と考えている。
問 学校で、SDGsの授業を取り入れる計画はあるのか。
教育長 小学校では、学習指導要領に入っており学んでいる。
問 SDGsの理念を第2次新温泉町総合計画後期基本計画の策定に反映させてはどうか。
町長 反映させることは、とても大切だと思う。

問 図書館に、SDGsの展示コーナーを設置しているが、期間は。
生涯教育課長 5月19日から7月までを予定している。
問 SDGsは、私たちの身の回りにある問題を目標にしており、身近に感じることが、大切だと思うがどうか。
町長 日常から、意識を啓発していくことが大切だと思う。

町行政に求められるコンプライアンスとは

町長 法令遵守や一般的な倫理観に従うことだ



河越 忠志 議員



土地鑑定の必要性にかかわる議論

問 現在の「コンプライアンス」が意味するところは、法令遵守だけではなく、社会の一般的な要請に応える良識だと思っているが、昨年の3月議会で指摘し、議会内でも「不要」との多くの意見があった。「残土処理場内の5万円程度の未買収地（既に埋め立てられており、周辺の土地は買収済であり、参考価格も明確な土地）にかかる30万円を超える土地鑑定料の予算」が執行された

ことが、本年3月の私の質疑に対する答弁で明らかになった。議決において、減額修正されなかったことは事実だが、この件は、行政に求められるコンプライアンスにかかわっていると考えているか。

町長 議会での議員の意見は、町当局として当然、受け止める必要があると考えている。そのことが、100%違法行為だとは思わない。それぞれの事業の在り方について十分検討した結果だと考えている。

なる規定においては、金額が一定以上の不動産買入の場合、不動産鑑定を2者から徴収し、安価な方を採用することにしているが、そのような事例を聞いたことがない。高価な不動産を適正な価格で取得するための2者の不動産鑑定と、価格が容易に想定される安価な土地に数倍もの鑑定料を投じることの、どちらが重要だと考えるか。

町長 それぞれの状況に応じて、案件ごとに適正にやっていると思っている。

問 適正に執行されているとすれば、その規定どおり一定額以上になるものについては2つ以上の鑑定を徴収しているとは理解してよろしいか。

町長 全部掌握しては

いない。この場で、はっきりと答えることはできない。

問 把握できないのは当然だと思う。ただ、そういう事案が過去にあったとすれば、安価な土地を鑑定する根拠がなくなる。むしろ、

社会的常識を適用すべし。公共調達におけるコンプライアンスも同じだと思うが、どうか。

町長 適正な価格を基本として、税金を有効かつ効率的に、町の中で回す経済循環が、一番大切だと考えている。



開示された鑑定書。これでは何も分からない



森田 善幸 議員



接種希望率の見込み違いが遅れの原因か

町長 人口や感染者数を基にワクチンは配布される

コロナワクチン接種

問 3月定例会で、ワクチンの接種希望率は66%と答弁された。実際は90%近い方が希望された。その差がワクチン接種の遅れになったのでは。

町長 基本は高齢者全員に行き渡るようにしている。遅れた理由はワクチンの国・県の配布方針が人口、感染者の人数等に基づいていたためである。

問 5月29・30日の集団接種で①事前キャンセル、②当日キャンセル、③問診で接種できない方のそれぞれの人数は。

町長 それぞれ①52名、②57名、③6名。

問 当日キャンセル分のワクチンは無駄にならなかったのか。

町長 まだ接種をされていない医療従事者の方等に待機をしてもらい、無駄はなかった。

問 キャンセルや問診で接種できなかった人は、今後個別接種となるのか。

町長 そのとおり。今後通知する。

問 高齢者の集団接種で、副反応の状況は。

町長 29・30日の集団接種では、1名が救急

車で搬送されたが、1時間後に体調が回復し、帰宅された。また1名が経過観察中に、不調になったが、しばらく安静にして帰宅された。64歳以下の方のワ

クチンの優先接種順位はどうなるのか。

町長 基本的な枠組みは健康福祉課で作るが、最終的に医師会と協議して実施する。

温泉を活用した健康増進策

問 本町の新型コロナウイルスの陽性者数の累計は、



高齢者の会場での集団接種はスムーズに終わった。
64歳以下の接種は現在協議中

わずか4名で、但馬内の他市町と比べて圧倒的に少ない。このことと町民の入浴習慣、温泉成分等に因果関係がないのか、大学等の研究機関と連携して、調査すべきではないか。

町長 体温を1度上げると免疫効果上がる。血流もよくなる。本町は長生き、100歳以上の人口が、10万人当たりになると県下トップだ。それは、温泉入浴が影響しているのではないかと考えている。

問 大学等の研究機関のお墨つきがあれば、町のPR、移住定住の促進につながる。自治体と研究機関が共同で感染症に対する温泉の効果、他の温泉地でも行われている。

町長 温泉の効果、他の温泉地の現状を改めて勉強し、取り組んでいきたい。

有害鳥獣による農作物被害防止対策の強化

町長 捕獲員の捕獲技術の向上を図る



重本 静男 議員



有害鳥獣による農作物被害防止対策

問 捕獲し、個体数を減少させるのが一番有効である。捕獲班の人員確保の対策は。

町長 新たにわたの免許、第一種銃の免許、銃を所持する許可証を取得しようとする方に経費の一部を助成している。また、捕獲員の技術向上を図る観点から、くくりわなの研修会、活動事例発表会を実施した。

問 浜坂地域から鳥獣処理施設への搬入が困難である。対策は。

町長 狩猟される方々の意見を聞きながら検

討する。
問 ドローン活用で、鳥獣捕獲や駆除方法の検討としては。
町長 ドローン活用は研究したい。



有害鳥獣の被害防止対策としてドローン活用を研究

子育て世代の支援

問 安心して子供を産み育てられる環境づくりを推進している本町の子育て世帯への経済的負担の軽減を図る施策が充実してきた。昨年7月から高校生までの子ども医療費の無償化を実施した。実績は。
町長 令和2年度、0歳から中学3年生までの医療費は3,141万円。対象者数1,

484人。高校生では236万円、308人。

問 浜坂高校生のバス通学半額助成の実績は。
町長 6カ月定期2万1,390円、3カ月定期1万1,290円。令和2年度の購入件数は182件。令和元年度は65件である。

高齢者福祉の充実

問 令和3年3月に策定された、第8期新温泉町高齢者保健福祉計画によれば、認知症を患う方や介護が必要とする、高齢者はさらに増加する。自立支援はもとより、独り暮らしのお年寄りの見守りが重要である。どのような連携をして支援の充実を図るのか。
町長 現在、緊急通報システムを導入している。見守りは、町内の方、区長、地域の民生委員の連携が必要と考

える。
問 地域住民の命を守る取組みとして以前に提案した「救急医療情報キット」の早期の導入をすべき。
町長 現在、社会福祉協議会で配布の支援を行っている。本町も包括支援センターなどで、キットの普及に力を入れたい。

新型コロナウイルスワクチン接種

問 64歳以下の一般の人のワクチン接種はいつ終わるのか。
町長 医師会との協議では、詳細は決まっていない。
問 ワクチン接種終了の証として、ワクチンパスポートの発行の有無は。
町長 状況を見ながら対応を考える。



中井 次郎 議員



コロナ禍での町民の暮らし、2月より厳しい

町長 臨時議会を開き、迅速に対応していく

コロナ禍での町民の暮らし

からどんな状況が報告されたか。

町長 浜坂観光協会・湯村温泉観光協会・旅館飲食組合の役員が来られた。旅館・民宿経営、それに加え、出入りする業者が極めて深刻な状況に陥っている。出入りする土産物業者、クリーニング業者には全く支援はない。水道の減免などを求める要望書が出された。

問 3度目の緊急事態宣言が延長された。湯村温泉街も、観光客の姿がない日が多くある。地元の新聞ではお先真っ暗、長引く営業制限に悲鳴と、町内飲食業者の声が掲載されている。6月2日には町内の旅館組合など3団体が町に陳情を行った。今年2月より厳しくなっているが、団体

支援策が出るのか。

町長 臨時議会を開き、速やかに対応策を出していく。

問 商工観光課長が事業者を回ったことは良い姿勢だ。事業者の実

情はどうだったか。

商工観光課長 町長と一緒に、町内業者を回った。一番困っているのが旅館・民宿。お客さんが来ない、誘客もできない状況では閉めるしかない。従業員のモチベーションが下がることが一番心配だと

の声も出た。タクシー業界ではお客さんが減る中で、福祉タクシーなどで何とか持っている。

個人も厳しい状況、重層な相談体制が必要

問 個人についても、

厳しい状況が報告されている。旅館の従業員（60代）「残りの金は数



待ちに待った朝市が再開。多くの皆さんが参加し、コロナで会えなかった人にも会えました【湯村温泉ポケットパーク】

万円」。造園業（70代）「仕事がなくなった」。車の代行（70代）「飲食店が休みで、売り上げは月1万円」。営業職（20代）「コロナで回れない。収入なし」。こんな厳しい実態が出ている。社会福祉協議会の職員からは、融資

だけでは支援に限界がある。生活保護受給のハードルを下げ、加えて重層な相談体制が必要だと言われた。私も同感である。相談体制を作るべきと思う。

町長 実態に合わせた制度にすべきだと考えている。

16億円の成果の認識は

町長 温泉を軸にした町づくりの意思統一



阪本 晴良 議員



財政健全化策は

問 温泉施設は、リフレッシュ館、ユートピア、松の湯の3施設で6千万円以上の赤字対策は。

町長 町の施設としてなくてはならない施設であり、赤字の視点より健康増進に役立てたい。

問 公共施設の延べ面積が類似団体と比べ4割多いため、維持管理が困難になると総合管理計画に記載されている。今年の個別計画には、ほとんど改修が現状維持とされているが。

副町長 40年間で4割

の削減は大目標であり、随時フォローアップを重ねていきたい。

問 町長就任時22億円の財政調整基金が9億円減少し、これまでの1期7億円の積立からすると差引16億円を使ったことになる。この成果の認識は。

町長 温泉を軸にした町づくりの意思統一が、対外的にも大きなPRになった。また、おんせん天国室は波及効果がある。

ケーブルテレビの整備方針は

問 テレビ放送の中断の原因は何か。

町長 自然現象による電波の受信低波、ケーブルや機器の劣化など、状況はいろいろ考えられるが、はっきりとはわからない。

問 ケーブルテレビはテレビの再送信・告知放送・電話・インターネットの機能があるが、整備検討委員会ではどのような方向か。

町長 4つの機能は引き続きけるが、公設民営も議論になる。

問 GIGAスクールは昨年度に整備されたが、ストレスなしに稼働しているか。

教育長 浜坂地域の5校で、通信速度を6月に1ギガに更新したので問題は無い。

風力発電阻止の取組みを

問 事業者は、売買ではなく、地上権設定契約で用地を確保しようとしているが、どう把握しているか。

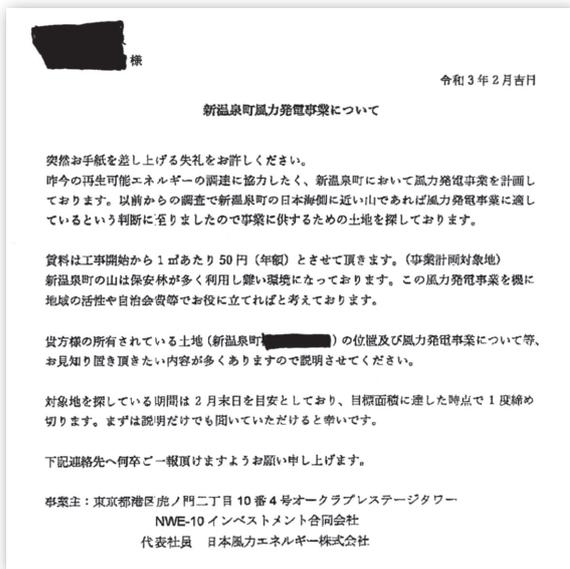
握しているか。

町長 代理業者が、1㎡当り50円の地上権設定契約書を持って回っているようだ。事業者の鳥取支店からは、計画は進んでいないと聞いています。

問 7兆円ほど持っている事業者は、百万円程度の子会社で事業を起こし、うまくいかない。

くなれば放置したまま撤退することもできる契約で、リスクは地主や自治体が負うことになる。設置を阻止できる法律整備の要望書を国への提出や条例を策定する考えはないか。

町長 町条例は、土地規制ができるならしたい。国へは対応を考えたい。



風力発電の土地を取得するための文書



池田 宜広 議員



中学校の団体部活動、統合は可能か

教育長 現段階では、連名校の出場となる

中学校の部活動、練習に影響がある

問 我が町には中学校が2校ある。少子化に伴い生徒数が減少し、団体競技の部活動練習に影響が出てはいないのか。学校統合は厳しいと考えるが、せめて部活動のみ統合はできないのか。数年後には「連名校」での出場となる可能性がある。

教育長 確かに、生徒

数減少に伴い、部活動の存続も大変大きな課題となってきた。

問 通学エリアもあるが、例えば「野球部」を一方の学校に、もう一方の学校に「サッカー部」など、一方の学校名で出場は不可能か。

教育長 今後、何年後かには考えていかなければならない課題と受け止めているが、移動手段等、他の課題も出てくる。

問 現在、可能である「夢が丘・浜坂中学校」の連名校でなく、一方の学校名で出場できないのか。

教育長 現在、連名校での出場は可能だが、一方の学校名での出場

は不可能である。
問 今後、部活動の有無により、生徒の流出が加速するのではないかと心配をする。

教育長 昨年度、技能や能力をさらに伸ばしたいとの思いで、4名の方が他地域の中学校に入学をされた。
問 部活動は中学校間のみならず、「浜坂高校」と文武を含め連携が必要ではないか。



部員数が少なく、練習メニューが限られる

りだと思っている。昨年度後半より各校の校長先生と協議している。今後の運営に取り組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種

問 高齢者へのワクチン集団接種が開始された。追って個別接種も開始される。全体のワクチン供給量は十分か。

町長 当初は希望より少なかったが、現段階では比較的順調に入ってきている感がある。

問 前回、接種時の反省点はなかったのか。

町長 気象状況等により課題はある。

問 町長の接種はどうなっているのか。町の重責を担っているのので先行接種してはどうか。

町長 かかりつけ医と相談し接種したい。

温泉天国5年後の目標値の修正は

町長 平均寿命トップ、観光入り込み150万人はあくまでも目標・ビジョン



中村 茂 議員



問 条例によるおんせん天国室の設置目的は「温泉活用に関する施策の企画及び総合調整に関すること」掌握業務に「温泉の活用推進本部」がある。推進方法に内部プロジェクト「温泉活用で町民を笑顔に」とあるが、組織は存在するのか。

町長 温泉を活かす、本来の町の最大の資源3カ所の個性ある温泉がどう活かせるか、新たなシンボルマークとして、おんせん天国室を設置した。同本部組織は存在しないように思う。ランニングステーション等、提案し

継続している。

は 温泉活用の真の狙いは

問 温泉活用の展開の真の狙いは何だったのか。数値目標があったが、どの程度達成したのか。各種データの見解を聞きたい。

町長 県下の平均寿命ナンバーワン、観光入り込み客数150万人が目標。コロナ禍で、令和2年度、昨年は65万人、令和元年度は107万人。平均寿命は、現在、男性80・8歳、県下16位、女性が87・4歳で県下7位。引き

続き努力を重ねたい。
問 公約として目標の達成は当初5年であった。コロナで達成が無理なら修正すべきであるが、改めて考えを聞きたい。

町長 100歳以上の方が現在でも25名で、県下でも10万人当たりになるとトップの長寿にするとトップの長寿平均寿命でトップもとれる。観光入り込み客数150万人はあくまでも目標・ビジョンで掲げている。

町内の温泉利用は増加・評価すべき

問 おんせん天国の町民の広がり、結果として、町民の温泉施設の利用や関わり方ではないか、達成度はどうか。私の調査では、但馬内の温泉施設は29年度、元年度比較で80%台に減少。本町の90%台に減少。同期間みが106%。同期間

の町内利用者はリフレッシュ館が112%、薬師湯140%増加。リフレッシュ館の会員は337人に増加、うち半数が常時水中ウォーキングをしている。

町長 同期間に温泉施設利用者が増えていることは、素晴らしいという判断になる。その分析は、もう一度する必要はある。
問 様々な数字を集めて、今のおんせん天国の状態を評価すれば、ビジョンのみならず誰に対して自信を持って発信できる。



リフレッシュパークは、快適な条件下で水泳や歩行浴等、全世代の健康増進に寄与している。正に温泉天国の象徴です



平澤 剛太 議員



浜坂地域にもアパート牛舎を造る考えはないか

町長

地域の合意形成が一番。そういうエリアがあれば畜産振興のために支援したい

日本農業遺産で但馬牛のブランド活用を

「兵庫美方地域の但馬牛システム」の世界農業遺産認定はコロナ禍で滞っている。では、認定済みの日本農業遺産の活用状況は。

町長 PR映像と小学4年生向け副読本を作成した。牧場公園では農業遺産体験館を増築した。
問 但馬牛ブランドの活用は単なるPRではなく、地域の農産物の付加価値を上げる取組

み、観光客の客単価を上げる取組みにつなげるべきだ。

町長 単価が安く、農業の実態は厳しい。堆肥の利用促進も行っている。指摘がなくてもやっている。



但馬牛畜産農家の収入増には増頭が、増頭には牛舎が必要

増頭に直結する新規牛舎の整備

問 町としての支援は。

町長 地域おこし協力隊を活用し、人の手を増やす。牛舎については、丹土地区で新たに2棟を増築する。

問 地域おこし協力隊だけか。後継者となる

若い畜産事業者にはどうか。

町長 2世・3世が増え、かなり補助している。

問 金額面での補助以外に、町を挙げての支援が必要。牛舎に対する住民理解を高める取組みは。

町長 牛舎が横に来れば嫌だとはつきり言われる環境だ。農業遺産を受けたからいいよと言う人は一人もない。

アパート牛舎の今後

問 アパート牛舎の想定は、地域おこし協力隊か。

町長 一昨年の2棟は地域の方。今回は、協力隊員の卒業後の利用を予定している。

問 協力隊事業の出口として必要なことは理解できるが、入れる人と入れない人で差があり過ぎではないか。

町長 公平性は大切。将来の増築に向けた計画を作る。

懸案事項・町民バス

問 就任当時から課題である町民バスについて、何か改善されたことがあるか。

町長 特にない。

問 都会の運転手を、地域おこし協力隊として活用しては。

町長 いい提案だと思う。

障がい者グループホームの状況

問 町有地を提供して民間事業者が建てる計画は頓挫したが、その後は。

町長 敷地が狭く、男女で2棟建てたい事業者と協議して取りやめた。今は1地区を候補に計画が進んでいる。

問 町のかかわりは。健康福祉課長 地区に出向いて説明している。

問 人権の町としての対応を。

町長 そう取り組んでいるのが実態である。

沿岸漁業が町の歴史・文化・祭礼行事を守ってきた。イカ釣り船減少への対策を

町長 漁協と支援を協議し、子ども達へは漁業振興につながる教育を行う



浜田 直子 議員



イカ釣り船が増え、町の活性化を望む

コロナ禍における産業・商業・水産業の支援

問 春から秋の当町の風物詩に、イカ釣り船の漁火とするめ干しがあるが、少なくなっている。漁協組合長によると、沿岸漁業の船が

減り、スルメイカの漁獲量が減少している。試験操業・漁場調査の支援を求める。

町長 浜坂漁協と連携し支援策を検討する。

問 沿岸漁業が、町に要であった。漁協より年に4回、町内全小中

学生約1,100人の給食に魚の提供がある。漁業を知って興味を持つきっかけにすべき。

町長 海に対する親しみやすさを増やす。

教育長 教育の分野でも取り組んでいく。

問 イカ釣り船を増やすために、起業支援金の補助も活用しては。

町長 沿岸漁業による町の経済波及効果は、とても大きく重要である。

問 生きイカの流通としては。

町長 必要な支援を協議する。

問 商店街へのお買い物に通勤通学以外の時間帯を限定したバスの活用どうか。

町長 福祉タクシー券を増やしている。

問 七釜の第2泉源の活用について

足湯など設備が老

朽化している。温度も50℃程で飲むこともできる。水につかりやすい地域であるが、改修し20町歩以上もある広い自然を活かしたおんせん天国としての活用してはどうか。

町長 足湯の改修には取りかかる。この源泉を活用し、七釜温泉全体の来客増につなげた

い。

結婚・子育て支援と妊婦健診・出産時のタクシー補助について

問 子育て支援の充実をPRすることで結婚し暮らす方も増える。結婚に向けた積極的な応援体制の充実は。

町長 経済的な支援も準備している。麒麟のまちのサポートセンターもある。

問 町内に産婦人科がなく、検診・出産時にも交通手段が不安な時も

ある。マタニティタクシー支援と、ドライバーの講習機会を提供してはどうか。

町長 前向きに検討する。

男女共同参画・ジェンダーギャップについて

問 若者回復率を上げるジェンダーギャップ解消に向けた対策は。

町長 今ある制度で対応策を推進する。

問 人権の町としては取組んでいるが、実際に女性の社会進出や活躍については、他の市町ほどではない。男性女性LGBTすべての方が尊重し合える町づくりを進めるべき。

町長 検討したい。

※若者回復率…10代で都会に出て、20代で戻ってくる割合



宮本 泰男 議員



山陰海岸国立公園・新温泉町エリアの整備について

町長 また来たいと思ってももらえる、町づくりを努める

国立公園エリアに景観を損ねる箇所が多く、早期整備が必要

問 ①道路状況は、清掃、管理は良好。除草が不十分。②通行止め区間がある。③七坂八峠は、高い木が景観を損ねている。④トイレなどの施設は、老朽化している。改善すべき。⑤標識、案内板、歌碑等の表示が消失し、改修・撤去すべき。⑥ゴミ、漂着物が多く見苦しい。現状認識と対策

を問う。

町長

①三尾御崎線業務委託で整備している。②芦屋から矢城ヶ鼻、落石防止に多額の費用がかかるため、町単独事業では困難であり、国県に支援を要望

している。県は支援を検討したいと言っている。③高木の伐採は私有地のため困難。④トイレ等の施設は、優先度の高いものから随時修繕等に対応する。⑤観光案内板等は、年次

的に修繕を行っている。⑥海岸の景観美化は、ボランティア清掃など住民と一緒に努める。

問 本町には観光資源が沢山ある。町長、職員、議員、町民一丸となり、観光立町にすべきである。

町長 本町を訪れた方々が「また来たい」と思っていただけの町づくりに努める。

千々見山を桜の名所にしよう

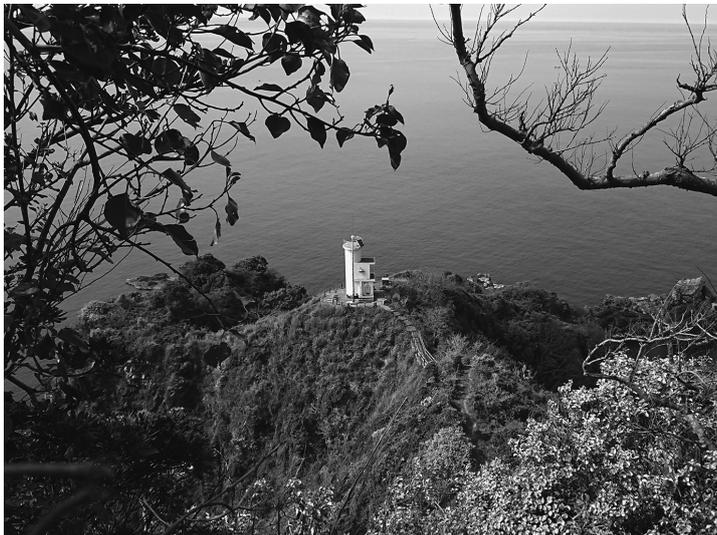
問 千々見山は標高263m、展望台から浜坂、諸寄の町並み、日本海の大パノラマが広がる。「この山の素晴らしさを知ってもらいたい」と但馬浜坂ふるさと塾の方々を中心に多くのボランティアの協力で、登山道入り口から展望台までの1kmの遊歩道の両側に桜を植樹し、草刈り等す

る活動が2000年から始まった。現在は加藤文太郎山の会がボランティア活動を継続している。この活動が活かされ、満開の花を咲かせるには行政の一押しが必要である。展望台・遊歩道整備、桜木補充植樹等事業化をすべきである。

町長 整備事業は今後検討する。

町長の次期出馬について

問 本年10月の町長選挙に際し、西村町長の出馬のご所見を伺う。
町長 2町合併の共通項は温泉で、町をおんせん天国にするためおんせん天国室を設置した。後半2年は新型コロナナ感染拡大の影響を受け、思うような事業実行ができなかった。改めて温泉を活用した町づくりに挑戦したい。



落石により、芦屋方面からは通行止めが続く矢城ヶ鼻灯台

希望をもち、安心して生活できる町づくりを

町長 住民の意見を聞きながら、満足度を高める



太田 昭宏 議員



町づくりに大切なこと

問 若年女性の減少率が県下一であり、消滅可能性自治体と言われている。この厳しい状況の中、何を大切に、どのように町づくりを進めるのか。

町長 意見を聞きながら、住民満足度を高める。温泉活用を標準にビジョンをつくり、夢や希望の膨らむ温泉づくりを進める。

問 産業の継続のため、若い世代を確保する取組はあるのか。

町長 商工会と連携し、補助金等、支援策を充実させている。

問 今の施策を継続す

れば、若い人が町に増え、後継者が育つていくと考えるのか。

町長 前向きにとらえている。施策には、知恵や行動力がある。

問 産業の後継者確保のために、一年程度のインターンシップ制を導入してはどうか。

町長 ビジョンとしてはいいが、現状は無理である。

問 豊かな資源を活用し、大学の合宿を誘致するのはどうか。地元の人と交流ができ、町をアピールできる。

町長 将来が見える感じで、よいと思う。

問 町づくりには、人組織も大切である。

町長 組織づくりと人材活用は連携している。研修制度での資質のレベルアップもあるが、町民との会話で、会話力、交渉力を高める。管理職ミーティングで各部署の連携を深めている。

問 地域には、どのような支援があるのか。

町長 単独で集落の維持が難しい場合は、集落が集まり、集落支援制度を活用している。

地域とキャリア教育

問 キャリア教育の取り組み状況は。

教育長 キャリア・ポートを作り、自然学校、トライやる・ウィーク等で、自分の



越坂周辺。牛ヶ峯神社の奉納相撲は賑わった

成長を振り返らせている。

問 キャリア教育は、地域の産業に目を向けさせる機会を設けるとあるが、具体的な取り組みはあるのか。

教育長 トライやる・ウィークで、漁業、農業、畜産業などに関わる機会をもっている。

問 キャリア教育を通して、小・中・高の連携は出来ないのか。

教育長 つなぐ・つながる教育を打ち出しており、つながる線をしっかりと作る。

問 中学生による子ども議会での意見や提案に対して、町の反応が必要ではないか。また、十八歳の意見を聞く機会を設け、アイデアや力を町づくりに活かさないか。

町長 子どもが未来にビジョンを描ける町づくりをするのは、大人の責任が一番大きい。



谷口 功 議員



「生活弱者」に政治の光を当てよう

町長 国の制度にも係わり、超えられない壁がある

ヤングケアラーに支援を

問 家族のケアを担うヤングケアラーをご存知か。

町長 ラジオで何度も聞いた。わが町の実態がどうかと思った。

教育長 テレビの報道を見て認識している。その年齢にあった生活教育ができないことに憤りを感じる。

問 子ども達がケアを担わねばならない理由をどう考えるか。

町長 どういう思いでの質問か分からないが、行政として実態調査からやるべきだ。

教育長 この背景、生活、家庭生活に目を向けなければならぬ。

問 実態調査は年度内にされるか。

教育長 要保護児童対策地域協議会の調査は県から下りている。教育の部分は検討し手立



子ども達の実態を把握し、支援の手を差し伸べることが大切

てを考えたい。

問 大事な視点は、L0138号・182号条約、労働基準法、子どもの権利条約、児童福祉法等に照らし、ケアラーとして頑張っている子ども達に、支援の手を差し伸べる

ことが大切ではないか。

教育長 本当に大切なことだと思っている。

特別障害者手当Ⅱ手帳無しでも受給可能

問 特別障害者手当の受給基準はどういうものか。

健康福祉課長 1級から2級程度の障がいがある2つ以上重複、もしくは1級、2級程度の障がい1つと3級程度の障がい2つ以上重複していることや、手帳がなくとも、日常生活動作能力の評価が極めて重度などだ。

問 障害者手帳がない方でも医師の証明があれば、この制度を活用できる。制度内容の周知を徹底すべきだ。

町長 そのように対応する。

生活保護制度Ⅱ困ったとき誰でも活用可能か

問 生活保護制度は、本当に生活に困ったときに誰でも利用できる制度となっているか。

町長 要件に、かなり制約があると聞いています。生活の最後のよりどころであり、要件の在り方を考える必要がある。

問 生活保護受給者の状況は、平成28年97人、令和2年81人。コロナ禍で生活困窮者は増加し、社会福祉協議会への相談が増えているのに、生活保護受給者は減っている、なぜだと思ふか。

町長 資産の活用、生活必需品以外の財産を売却し生活費に充てたり、自動車の保有が認められないなどの要件があり、それらが保護申請をためらう要因だと思ふ。

問 現場の対応が、生活保護法の規定通りの運用になっていないのではないか。

町長 国の制度であり、なかなか町としては対応が難しい面がある。

総務産建常任委員会

6月14日開会

牧場公園課

但馬牛博物館増築

Q 増築した「農業遺産体験館」の外国人の対応は。

A 通訳機器と、4カ国語のアプリを活用して対応する。

農林水産課

肉用牛近代化計画

Q 誰のための計画か。畜産農家の意見を聞くべきだ。

A 国の方針に基づいて県が計画を作る。それに沿って町が策定したものである。5年後に見直しをする。

Q 大規模繁殖農家の経営が成り立つ頭数の基準は。

A 40頭以上である。
Q 新規就農者の確保・担い手の育成は。

A 後継者の経営継承を支援する。また、地域おこし協力隊の募集

を行い、但馬牛研修センターを活用する。

建設課

浜坂駅周辺活性化方策検討業務の進め方

Q 事業の進め方は。アドバイザーを外部から選定し進めていく。ソフト事業は企画課、ハード事業は建設課が中心となり行う。

商工観光課

新型コロナウイルス感染症対策事業

Q 事業継続支援金の残額が3千万円あるが、新たな支援策はないのか。

A プレミアム商品券の発行もあり、様子を見て新しい施策に反映する。

Q 新生活様式チャレンジ事業の支援内容は。
A アクリル板設置9件とテイクアウト1件である。

Q 拡大防止協力金(1月〜3月)の支払い状況は。

A 町は支払いが遅れており、県に催促している。

夢公社事業報告

Q ログハウス・ワークスペースの利用状況は。

A 5月は4名である。夢公社と連携し、宣伝を強化する。

企画課

温泉熱を活用した健康プログラム整備

Q 呼吸法やストレッチだけの実施内容で、来訪者の長期滞在につながるのか。

A リフレクシュ館のプール利用を調整している。また、オンラインを活用したりピーターづくりを実施している。



春來川沿いで開催した「温熱リラックス」。温泉熱を感じながら呼吸法やストレッチを行う

地域再生大作戦未実施集落元気度調査

Q 調査の判定基準は。4段階に分けている。アンケートを行い、調査を分析し、今後の対策を検討する。

ワーケーション誘致推進事業

Q ワーケーションは本町に有効なのか。

A 県のバックアップもあり、本町はいち早く取り組んだ。地域との交流で、経済の活性化につながる。

Q この事業は、国の予算があるから、今年だけやるのか、継続してできるのか。

A 継続していきたい。事業所として、残るものを作っていくたい。

Q サテライトオフィスはどこに誘致するのか。

A 中小企業を想定し、空き家・空き店舗を考えている。

民生教育常任委員会

6月16日開会

いづも教育課

報告事項

教育振興基本計画について

Q 計画の内容は。また、学校等現場での活用方法は。

A 教育基本構想に該当する内容であり、校園長会で提示することにより、各校園での実施につなげる。

Q 計画は方策を示した方が良いと考えるが、策定の方法は。

A 国の基本計画に沿う内容で、目指す子ども像を示す内容を含んでいる。

Q 前の計画について、評価がなされ、公表されるべきだと考えるが。
A 新たな策定委員会で総括する予定だが、公表については、検討する。

GIGAスクール構想

Q タブレット配置は家庭での学習を含め、ペーパーレス化が目的ではなかったのか。

A 学校での幅広い活用が主な目的だ。

Q 浜坂地域の学校での通信速度は、専門家では事前予想できる問題ではないのか。今後、専門家の関与が必要だ。

A 原因は複数考えられ、他市町でも同様の問題が生じている。専門家の関与については、国に要望していく。

協議事項

浜坂認定こども園整備関連補正予算について

Q 3月の委員会での報告意図と異なっているが。

A こども教育課では、役場東側で整備を進める予定であった。

Q 未だに進まないのは、町長が止めているのか。

A (町長) 教育と町づくりを総合的に判断する必要があると考えている。

A (教育長) この委託事業により、早期決定



一人に1台のタブレット。授業に使いこなせる体制が必要

へ一步を踏み出したい。

Q 新たなハザードマップも周知されていないが、作成された報告書はどのように活用されるのか。

A ハード・ソフトを含めた配布資料に示す項目を比較検討し、住民説明に使用する。

Q 現在地の東側を除いたのは何故か。

A 議会で鑑定料の補正予算が否決された事実を尊重するため。

採決により、賛成3・反対4で委員会として了承せず。

健康福祉課

新型コロナウイルスワクチン接種について

Q 寝たきりの方などへの接種方法は。

A 個別訪問による接種を予定している。

Q キャンセル等による残余ワクチンの活用方法は。

A 高齢者入所施設職員等に接種した。

Q 65歳未満の方々への一般接種の実施は。

A 集団接種を予定している。また、旅館関係者は産業医による職域接種、漁業関係者は他市町との連携も視野に入れていく。中学生の集団接種については、課題もあるため、今後、検討する。

公立浜坂病院

新型コロナウイルスワクチン接種について

病院及び介護老人保健施設職員の2度の接種は二人を除き、完了した。二人は1回目の接種による副反応が大きかったため、2回目の接種ができなかった。
Q 病院での65歳以上の高齢者の個別接種の実施予定はどうか。
A 現時点で、120件分の予約を受けている。

請願書・意見書

●加齢性を含む難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願書について
【賛成3 反対11（欠席1） 不採択】

賛成討論

中井次郎議員

高齢化に伴い、耳が聞こえにくくなつて仕事や社会生活に困ることが増えている。しかし、補聴器は平均価格が15万円と高額で、「高くて買えない」と悲鳴が上がっている。難聴を「医療」ととらえて補助制度がある欧米と比べ、日本は「障がい者」ととらえて助成対象を絞り込んでいるため、補聴器所有率が圧倒的に低い。高齢者が社会で活躍し、働いていくとき、補聴器は必需品になっており、購入に対する補助制度の創設が必要だ。

反対討論

平澤剛太議員

非常に高価な補聴器があるのは事実だが、過度な機能を入れなければ十数万、数十万円にはならない。障害福祉の制度を参考にすると、約5万円。同じような金額で眼鏡を買うことを考えれば、個人で購入できる金額であると言える。

現在、補聴器の認知症予防・フレイル予防への有効性に関する研究が行われている。難聴が認知症のリスク要因だとは考えるが、補聴器が認知症予防に有効であるという科学的な根拠は研究中。税金を使う以上は、しっかりと科学的な根拠が必要だ。

一般質問の動画

QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページでは、議会一般質問の動画を配信しています。スマートフォンをお使いの方は、QRコード読み取りアプリを使用して簡単に動画を見ることができます。



●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充をはかるため、2022年度政府予算に係る意見書の採択を求める請願について

【請願を採択し、意見書として可決】

人事案

●西浜財産区管理委員 水谷 和尚（諸寄）

任期は、令和3年6月22日から令和5年6月27日

●人権擁護委員

澤田 観智夫（諸寄） 谷田 善之（浜坂） 任期は、令和3年10月1日から3年間

第108回定例会 議案採決一覧表

Table with columns for 議員名 (1-16) and 議案名. Rows include: 専決処分の承認について (令和3年度新温泉町一般会計補正予算(第2号)の専決処分について), 新温泉町個人情報保護条例及び新温泉町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について, 新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について, 新温泉町手数料条例の一部改正について, 令和3年度新温泉町一般会計補正予算(第3号)に対する修正案, 加齢性を含む難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願書について.

○は賛成、×は反対、－は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案は省略)

議会日誌

- 4月 1日 議会広報調査特別委員会
9日 議会広報調査特別委員会
27日 総務産建常任委員会
28日 民生教育常任委員会
5月 6日 兵庫県町議会議長会 正副会長会議 (Web会議)
11日 美方郡広域事務組合 議会運営委員会
12日 北但行政事務組合 議会運営委員会
25日 美方郡町議会連絡協議会 監査・総会
26日 北但行政事務組合 会臨時時
28日 美方郡広域事務組合 議会臨時時
6月 3日 議会運営委員会
8日 第108回新温泉町定例会
9日 議会広報調査特別委員会
10日 全員協議会
14日 総務産建常任委員会
16日 民生教育常任委員会
22日 全員協議会

令和3年6月 第108回定例会 提出議案一覧

発案番号	件名
報告第1号	令和2年度新温泉町一般会計繰越明許費繰越計算書について
報告第2号	令和2年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
報告第3号	令和2年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
報告第4号	令和2年度新温泉町水道事業会計予算繰越計算書について
報告第5号	令和2年度新温泉町下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第6号	令和2年度兵庫県町土地開発公社事業報告及び財務諸表の報告について
報告第7号	第33期営業年度株式会社温泉町夢公社事業報告及び財務諸表の報告について
承認第2号	専決処分の承認について（専決第1号）令和3年度新温泉町一般会計補正予算（第2号）の専決処分について
議案第58号	新温泉町個人情報保護条例及び新温泉町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
議案第59号	新温泉町税条例等の一部改正について
議案第60号	新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について
議案第61号	新温泉町手数料条例の一部改正について
議案第62号	新温泉町福祉医療費助成条例の一部改正について
議案第63号	西浜財産区管理委員の選任について
議案第64号	令和3年度新温泉町一般会計補正予算（第3号）について
議案第65号	令和3年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第66号	令和3年度新温泉町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第67号	令和3年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第68号	令和3年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第69号	令和3年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計補正予算（第1号）について
議案第70号	令和3年度新温泉町水道事業会計補正予算（第1号）について
議案第71号	令和3年度新温泉町下水道事業会計補正予算（第1号）について
議案第72号	令和3年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算（第1号）について
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
請願第1号	加齢性を含む難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願書について
請願第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書の採択を求める請願について
意見書案第2号	少人数学級・教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について
発議第2号	新温泉町議会会議規則の一部改正について
選挙第1号	美方郡広域事務組合の議会議員の選挙について



挿し絵 木本博明氏

夢ホールのリニューアルに負けない

夢ホールステージオペレータークラブ

代表 中村 健太

活動内容は…夢ホールを中心として行われる文化活動の舞台設置、音響調整、照明合わせ、司会者、受付など裏方として幅広く活動しています。出演者にできる限りのバックアップと、観客に安全で楽しんでいただけるよう活動しています。

きっかけ・いつから…平成7年度から「プロではできないボランティアスタッフだからできること」をコンセプトに、「プロのオペレーターや他館のスタッフに指導を受けながら27年間活動しています」。

メンバーは…町内在住者を中心に他町のメンバーも含め、20代〜70代までの男女合わせて21名、個性豊かな楽しい顔ぶれです。

セールスポイントは…一つの舞台を作り上げる達成感と、世代を超えた仲間意識を感じる事です。ときには失敗しても反省しながら、コミュニケーションを大切に活動しています。
今後の抱負は…今年4月から夢ホールが生まれ変わりました。照明設備についてはLED化や機器が更新され、配色や光の当て方のバ



リエーションが増えました。音響設備は、デジタル化でタブレット操作が可能となり、できる事が増え、音質も豊かになりました。建物の搬入口が、舞台袖にできたことでスムーズになり、楽屋やリハーサル室、授乳室の設置が行われ、今まで以上に演者にも、お客様にも利用しやすい施設となりました。このリニューアルで、クラブ会員が置いて行かれないよう、精進したいと思います。

PRポイント…ホールのリニューアルで今まで以上にできることが増えました。地域の皆さまを中心とした文化活動の一つの拠点として夢ホールをご利用いただきたいと思っています。必要があれば地域の文化発表などにも協力させていただきます。

皆さんにお願いしたいこと…コロナ禍で機会が少ないですが、舞台の発表、ご観覧を是非よろしくお願いいたします。
その他…活動が難しそうと思われる方が、舞台の裏方に興味がある方、初心者も大歓迎です。一緒に活動してみませんか？高校生から入会できます。

編集後記

議会改革の一環として始めた『検証コーナー』も2回目となりました。編集に係る打合せの中で、取り上げる内容を探しながら、改めて私たち自身の活動を振り返ります。

町民の声を町当局に届けながら提案してきたことも、どうしても実現には時間がかかります。できるだけ早く形になるよう、一般質問や議案審議で工夫したことが思い浮かびます。

年4回の議会、だよりです。町民の皆さんも、改めて読み返していただけたら、各議員の視点が分かって、面白いかも知れません。

(G・H)

次回定例会は
9月です。
傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会	
委員長	阪本晴良
副委員長	平澤剛太
委員	河越忠志
	浜田直子
	森田善幸
	竹内敬一郎

発行者 議長 中井 勝